

※ 本事業は「経済危機対策」(平成21年度補正予算)によるものです。

## お問い合わせ先

東北農政局生産経営流通部農産課  
TEL(代)022-263-1111 FAX 022-217-4180  
担当: 地域指導官(内線4089)

関東農政局生産経営流通部農産課  
TEL(代)048-600-0600 FAX 048-601-0533  
担当: 地域指導官(内線3307)

北陸農政局生産経営流通部農産課  
TEL(代)076-263-2161 FAX 076-232-5824  
担当: 地域指導官(内線3319)

東海農政局生産経営流通部農産課  
TEL(代)052-201-7271 FAX 052-218-2793  
担当: 地域指導官(内線2416)

近畿農政局生産経営流通部農産課  
TEL(代)075-451-9161 FAX 075-414-9030  
担当: 課長補佐(内線2313)

中国四国農政局生産経営流通部農産課  
TEL(代)086-224-4511 FAX 086-232-7225  
担当: 地域指導官(内線2416)

九州農政局生産経営流通部農産課  
TEL(代)096-353-3561 FAX 096-324-1439  
担当: 地域指導官(内線4213)

[沖縄総合事務局]農林水産部農畜産振興課  
TEL(代)098-866-0031 FAX 098-860-1195  
担当: 課長補佐(内線83361)

農林水産省生産局技術普及課  
TEL(代)03-3502-8111 FAX03-3597-0142  
担当: 地産地消企画班(内線4773)

「学校給食に地元の農畜産物をもっと取り入れたい」  
とお考えの皆様、今がチャンスです!

地産地消・産直緊急推進事業  
(学校給食地場農畜産物利用拡大事業)



# 学校給食関係者の皆様へ

# 生産者の皆様へ

学校給食に地元の農畜産物の利用を増やしたい市町村等に助成します。

学校給食に地元の農畜産物を使ってもらえるチャンスです！

給食に地産地消メニューをもっと増やしたいな



(学校給食関係者)

地元の農畜産物が給食にもっと利用しやすくないかな

新たな冷凍・加工品の試作・開発費用の1/2を助成します。



地場産冷凍ほうれんそう



地場産の大豆で作った納豆



地場産小麦・米粉で作ったパン

新たに地元の農畜産物を導入した献立又は地元の農畜産物の利用割合を10ポイント以上増加させた献立を提供する場合、野菜や牛肉などの原料費の1/2を助成します。

## 地元の農畜産物



## メニュー例



子供たちに、もっと地元の農畜産物を食べてもらいたいなあ



(生産者)

でも、運ぶのが大変なんだよなあ

## これらの助成を受けるための要件があります。

- ・学校給食における地元の農畜産物の利用割合を、平成20年度と比べて平成22年度までに5ポイント以上増加させてください。
- または
- ・学校給食における地元の農畜産物の品目数又は重量を平成20年度比で5割以上増加させてください。

地元の農畜産物の利用を増やすため、集荷や配送を行う費用の1/2を助成します。



学校給食関係者と生産者などの話し合いや、生産者と児童・生徒の交流に必要な経費を定額助成します(上限100万円)。



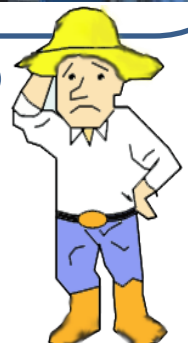
交流活動

地元にはどんな野菜があるのかしら



(学校給食関係者)

いつどのぐらいの量を納めたらいいのかな？



(生産者)